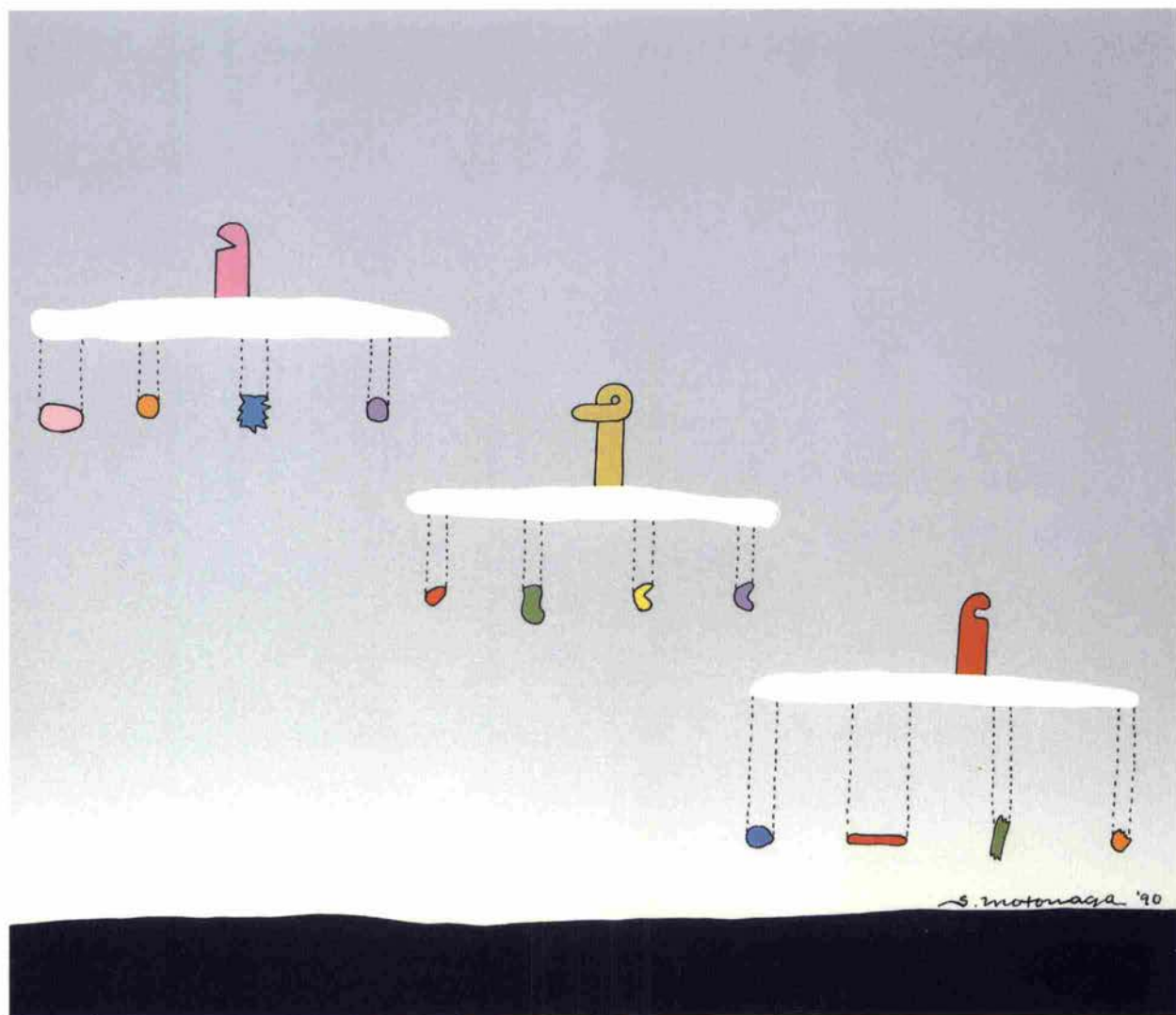


MONTHLY MAGAZINE

1999年6月1日発行(毎月1回1日発行) 第38巻第6号(通巻457号) 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

# KOBECCO

June '99 No.457 月刊神戸っ子 6



★特集／パール&ブライダル'99

神戸居留地返還100年祭を迎えて

**KOBE ELEGANCE**

〈ゲスト〉インタビュー 平野啓一郎 藤原紀香 叶高(サーカス)

〈連載〉エッセイ 村松友視 ショートショート 玉岡かおる

その時、美味しいメッセージ。  
夏のゴンチャロフから。

KOBE  
*Goncharoff*  
ゴンチャロフ

昼さがりの、おいしいお菓子とお茶。心地よい香りと甘さに  
五感が刺激されるのか、気分がぐんと晴れわたります。  
せせらぎの音もここに響きます。とびきりのティータイムのために  
この夏も贈りものは、ゴンチャロフから。

## LAFRUITEAR

### NEW ラフルーティア

オレンジ、パイナップル、ストロベリー、グレープ、メロンの5つの味。  
いきいきとしたニューデザインで、装いもフレッシュに。



## FRUITING COCO

### フルーティングココ

もぎたての果実のおいしさ、そのままに  
みずみずしく仕上げたデザート。  
メロン、オレンジ、グレープ、チェリー、グレープフルーツの5つの味。





何かが始まる予感



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目 TEL 078-331-5761

—アート&クラフト'99—

第6回 西村 功



サンミシェル駅出入口



にしむら こう  
〈画家〉

神戸市東灘区在住

私はバリの風景をよく描きますが、最近のメトロはあまりにも近代的になり、やはり昔のメトロが好きです。それで少しでも古いものが残っているところを探して描いています。今年も6月に渡仏しますが、古い時代のものを探して描くつもりです。

“ベイシティバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートのスポットとして、本年は「アート&クラフト'99」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー



ふれあいウェーブ—ベイシティバンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650-0011  
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874





# “この鈴の音に生命を燃やして”

インド古典舞踊家 ダヤ・トミコ



インド古典舞踊の第一人者ダヤ・トミコさんをサロン萬里に迎えて、五月十一日の午後、感動的なインド古典舞踊の神秘的な世界を繰り広げ、観客を魅了した。

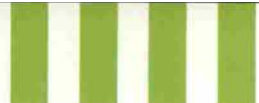
五月の赤いバラの花にも似た舞踏への命を燃やすひとときは、鈴の音と溶け合って色と香りの気品が心を打った。

(本誌・小泉美喜子)

サロン萬里にて  
デザイナー 小林萬里子  
小林 悟







KOBE EXCELLENT FASHION

maxim  
マキシム

## 夏の日差しを帽子でカット

おかげさまで本社増築工事も完成いたしました



撮影 木田定典

### KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…

Sanohe

本店 神戸市中央区元町通2丁目5-7 TEL.331-4707  
ヌーヴェルハ 神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE  
*Omura*

神戸市中央区元町通3-2-18  
ボルボ店 TEL.391-0014  
ピアノコ・ドンナ店 TEL.391-4601  
(クーカイ店)

★よろず御褒衣縫上處

神戸シャツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168



LIZA

神戸市中央区三宮町2丁目6-1 TEL.391-6806

★婦人帽子

maxim  
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 (トアロード)  
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

手づくり  
お談え紳士服



創業明治16年 金 株式会社 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161  
東京店 東京 帝国ホテル アーケード内 TEL. 3503-7973

# KOBECCO

月刊神戸っ子6月号

No.457

JUNE '99

これは神戸を愛する人々の雑誌です  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の心の手帖です  
表紙／元永定正「しろいみつつ」



西田眞人「THEATER」

## 特集／パール&ブライダル'99

50

神戸居留地返還100年祭を迎えて  
**KOBE ELEGANCE**

54

神戸国際宝飾展&  
パールフェスタ1999

## interview

10

どんな時代に生きようとも  
平野啓一郎

91

いつか神戸が舞台の映画に出演したい  
藤原紀香

95

幸せのハーモニー、神戸の夜空に  
叶 高（サーカス）

## art & essay

18

私の「フランス組曲」・さくらんぼ  
松田千草

## photo & essay

28

神戸っ子祭り'99 華やかに！  
至福の愛と笑顔 今岡寛和  
継続を支える力 三好栄三

## new series

36

竹久夢二 四つの恋のものがたり 〈1〉  
「宵待草秘話」

中右 瑛

## series

- 8 ポエム・ド・コウベ「六月のイリス」伊勢田史郎
  - 14 神戸のお嬢さん 片山直美 高橋百代
  - 20 私の意見「来年四月から介護保険制度が始まります」井口實徳信
  - 22 酔眠流旅日記〈34〉  
「武田泰淳さんとビール」  
村松友視 絵＝灘本唯人
  - 24 KOBECCO'99 富永弘子 マーティ・メリリヤン一色
  - 26 コウベスナップ
  - 31 KFSニュース メンズハウスグループ
  - 32 中村友一の味な街「シャガール」
  - 38 亀井一成のズームインズー「うらやましいホッキョクグマの誕生」
  - 40 はるにゃんのHYOGO WALK「エコアクション・プログラム」
  - 42 神戸を福祉の街に「たんぼ」から生まれるポッパナ織 橋本明
  - 44 有馬歳時記「有馬温泉観光協会50周年記念誌発行」
  - 46 タウン誌編集長おすすめの旅  
「元禄浪漫と義士の魂にふれる旅」TOWNはりま・笹間清二
  - 48 話題の広場
  - 49 おなじみプロフェッサーPの研究室 岡田 淳
  - 58 Reportタカラヅカ「心中・恋の大和路」瀬戸内美八
  - 62 トアロード情報「トアロード・ガーデンがオープン」
  - 67 ビット・イン  
マリーローランサン トレトゥール大平亭 カザノバ モーリヤ
  - 68 工房ルボ「神戸洋家具の伝統と技能に生きる」福元早夫
  - 70 神戸25時・彼と彼女のアストロジー 〈6〉  
ふたご座「真夜中のジェミニ」  
玉岡かおる 絵＝q濱浩子
  - 72 啓介いろは歌「イングランド・スコットランド・アイルランドいろは歌」今井啓介  
ヤジマング9906「水の月」矢ジマジユン
  - 73 神戸っ子倶楽部ニュース「諸岡博熊さん謝恩パーティー」  
愛読者プレゼント
  - 74 ポケットジャーナル
  - 76 文化情報&プレゼント「もだかる9906」
  - 78 海岸線、西へ。〈4〉「河口」木村光理
  - 80 海 船 港「五島列島の旅」
  - 82 北野ホットニュース 神戸北野美術館 カサブランカ
  - 84 神戸百店会MAP タサキSOL店 ポートピアギャラリー
  - 86 神戸うまいもん&ドリンキングMAP 西村屋ダイニング ぶはら
- カメラ／米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 シンイチ





ポエムド「ウベ」(6月)

Photo by Toshio Ikeda

## 六月のイリス

伊勢田 史郎

波止場のベンチの端っこの 黒い 小さなナツプザツク  
そのうえを 鷗 と驟雨が通り過ぎていった

颯と

ユニホームの海員が二人 歩調をとりながら去ってゆく  
窓ぎわの卓上では アイリスの紫 が匂っている

ながい ながい時がながれて 髪の毛が 葉巻の煙にもつれ  
白くなる

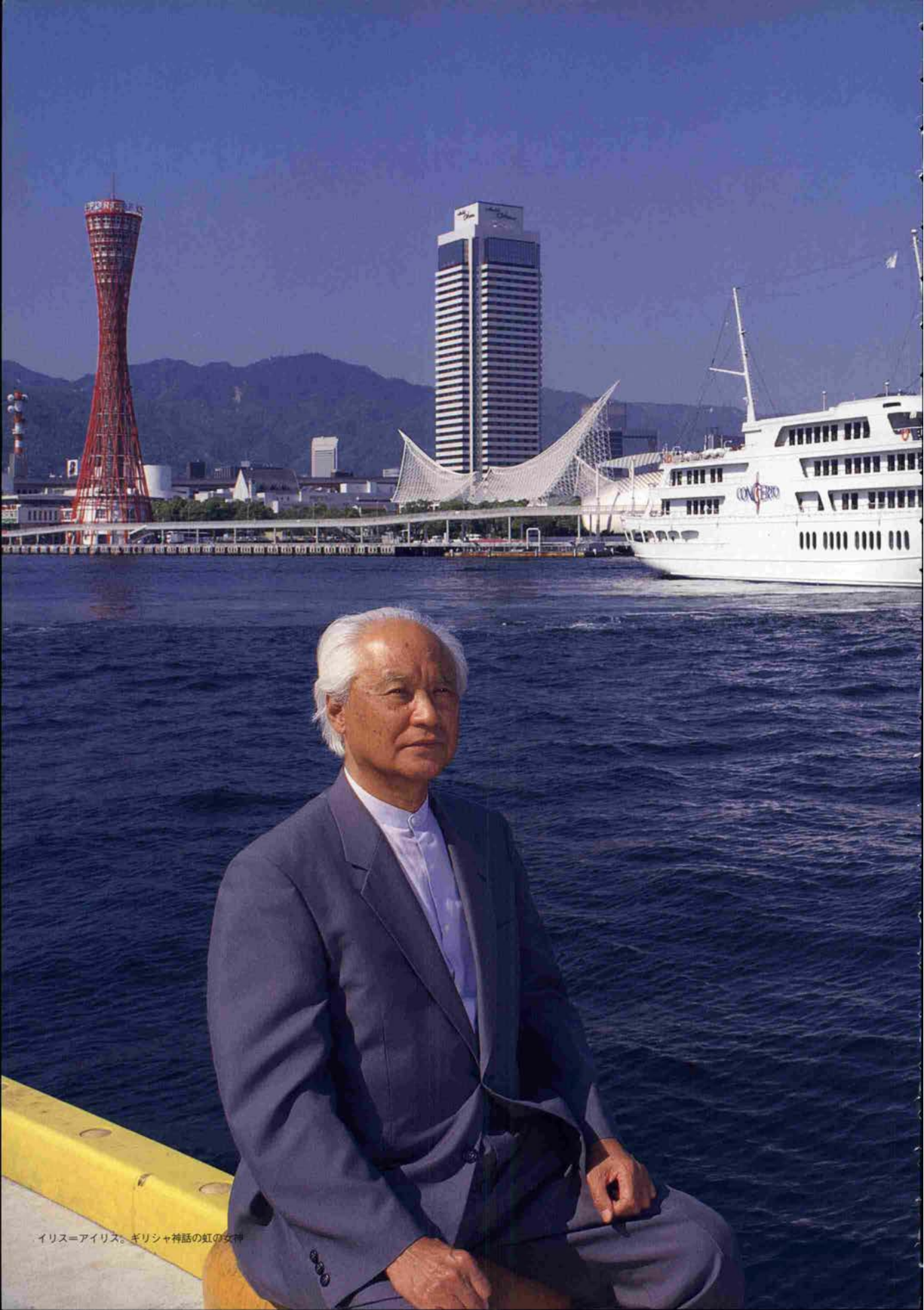
ホテル 起重機 タグボート

茴香ういきょういろの抱擁の空に 虹の女神が 祝福の橋を架ける

ホイッスル と

銅鑼





# どんな時代に生きようとも

## 平野啓一郎 〈作家〉

日本文学は再生するのだろうか。

作家は開き直り、読者はあきらめ、批評家はただ危機を訴える。

京都大学在学中に芥川賞を受賞した平野啓一郎さん。

こんな時代でも彼は日本文学の行末なんぞ気にしていない。“書きたいこと”を書いている。

ただ、私たちは期待していい。そこには可能性の回復がある。

作家・平野啓一郎、以前

——もとから口は悪いですけど——

——受賞後の生活はいかがですか。

「そうですね。取材なんかであわただしく。一時期よりは落着きましたけれど、忙しいという実感はありますね」

——実は、平野さんとは一才違いなんです。で、どのような少年時代、学生時代を送ってきたか興味深いんですが……

「小学生の時は、特に読書少年でもなく、グラウンドで野球なんかをやっているというような普通の子どもでした。本を読むようになったのは中学生になってからです」

——その時から外国文学なんかも？

「翻訳で読んでいたんですけども、幅広く読みました」

——じゃあ、今は原文で？

「いや、翻訳ですけれども（笑）。中学の時に読んだ本のモチーフすべてを完全に理解できていたかは分かりませんが、何か感ずるところがあつて読んでいたんでしょうね」





■平野啓一郎（ひらのけいいちろう）  
1975（昭和50）年 愛知県生まれ。京都大学法学部在学中に「日蝕」で第120回芥川賞受賞。4月には2作目「一月物語」を発表。現在京都市に在住

—どんな大学生だったんですか。

「他と変わらない、普通の大学生でした。軽音のサークルに入って、バンドを組んだり。友達と何か一緒にやるのが楽しかったわけで、特にこだわってやっていたんでもなかったですね」

—学業の方は。

「しなかったという問題がありませんので、まあそこそこに（笑）。時間が有り余っていたので、また本を読む機会が増えましたね」

—友達と読んだ本について語り合

う、とかはなかったんですか。  
「僕の周りで、本を読む友人はいなかったですね。基本的に読書の話は人にはしませんでした」

—じゃあ、新潮に「日蝕」が掲載された時の反応は…。

「もちろんびっくりしていました。感想は…ああ、よかったよって」

### 作家・平野啓一郎、今

—市民社会との違和感—

明治期の奈良、十津川村を舞台とした『二月物語』も「書こうとするモチーフのためにもっとも相応しい文体」で、綿密に調べられた史実をもとにした作品である。幻想小説でも、恋愛小説でも、明治時代の思想史的作品としても、読者にとって好きなように読んでもらえればいい、という平野氏。時代錯誤ではないか、といった意見が出て、逆に現代日本を舞台にしなければならぬ理由はないと言い切る。「芸術」はその時代を反映するゆえに芸術だとも思うんですが…というインタビューの根柢のない意見については少し気ばんで、次のように語る。

「カフカの『変身』にしても、直接にその時代を描いたわけではない

けれど、当時の精神的危機というのは伝わってくると思う。どの時代が舞台であろうと、『日蝕』や『二月物語』のような小説が今という時代に出てきたことの歴史的意味は、いずれ明らかになると思いますよ」

### 作家・平野啓一郎、以後

—三島とは違う方向で—

—評論やエッセイには辛辣なユーモアを交えながらも、作家としての潔さみたいなものを感じますね。  
「本当に大問題については鼻息荒げて言う必要があるけれども、小さなことにヒステリーになるのはかっこ悪いことですから、書き方には気をつけてますね」

—ポリシーみたいなものはあるんでしょうか。

「可能であれば自分の書きたいことだけを書きたいですね」

—今後東京都で作家活動を？

「ええ、そうですね」

—神戸は初めてですか。

「以前に何度か。僕の大学入学時に震災が起って…ある意味でとても強い街ですね。きれいになってるな、と思いますよ」

—次回作はいつごろ？

「今はまだ資料を読んでいる段階ですね。受賞後の喧騒の中で中断されてしまったので…。今度は十九世紀のバリを舞台にしようと思っています。まだ詳しいことは何とも言えません」

—もしかして「火」がモチーフですか。『日蝕』『二月物語』ときて日月の次は火かなと、七部作になつていたりして（笑）。

「いや、それはないです（笑）。『日蝕』と『二月物語』はもちろん太陽と月を意識して書きましたけれど、早く書きたいですね」

読者の方には、本を手にする前に情報から離れて、先入観のないところで読んでもらえれば作者としては嬉しいです」

（4月23日ジュンク堂二宮店で）

撮影・米田英男／構成・石塚絢子（本誌）

●小室豊允《夢対談》  
“新世紀を語る”

青木幸夫  
〈元エルアイシー代表取締役社長〉

小室豊允  
〈姫路獨協大学学長〉

# 文化・商業施設の集客力で 神戸三宮の完全復興を



青木幸夫さん



小室豊允さん

## 神戸の中心・三宮を どう復興させるか

青木 学長に就任されていかがですか。

小室 みんなに「仕事中は歩かずに走れ」と指示しています（笑）。青木さんはいかがですか。

青木 私がバタバタしているもので、会社のみんなを放ったらかしにしてたら伸びてきましたよ（笑）。

小室 復興関連ではどんなお仕事を？

青木 震災の年、私は「こうなって欲しいな神戸三宮」と題して三宮の復興案を発表しました（本誌95年7月号掲載）。ホールや美術館、博物館などの文化施設を神戸の中心・三宮につくり、無料もしくはごく安い料金で「本物」が見られるようにするというものです。JRと阪急の駅からフラワーロードにかけて空中回廊で結ぶ。回廊には陽が当たるようにして、植物を植えるんです。そうすれば、人が集まりやすくなり、回遊性も増すでしょう。

小室 国際会館が再建されましたが、他にまともなホールや美術館がないですからね。JRと阪急の駅ビルの建て替えも必要になってきますね。

青木 センター街は、容積を生かすため

にドームにして、その上に住宅などを設置してはどうかとの提案もしているのですが…。

小室 ニューヨークでは高速道路の上に住宅が建っています。発想の転換が必要ですね。これまで日本の都市は、まず工場、次に社宅、そして最後に商業施設が整備されるという流れで発展してきましたが、今はその逆になっています。人間にとって心地よい生活装置をつくれれば、必ず賑わいのある街ができるんです。

## 魅力あるソフトを調整して 商業ビルの再建を

小室 社名のエルアイシーとはどういう意味ですか。

青木 「ルック・インフォメーション・コンサルタント」の頭文字です。商業不動産を有効活用するための情報を収集し、実務型事業計画のコンサルタントとしてがんばっています。一昨年は、国際会館の南の飲食ビル「カーサグランデビル」一斉オープンのお手伝いをしました。建てる前にテナントをすべて決めましたので、オーナーさんや施工業者さん、銀行さんも喜んでおられました。現在テナントは1軒も入れ替わっていません。看





対談中の青木幸夫さん（左）と小室豊允さん

板をうまく設置できたことも大きかった。看板を馬鹿にはいけませんよ。  
**小室** 看板も風景の一部ですからね。  
**青木** また、神戸サウナの2階に「すかいらく」を誘致したほか、生田新道に「ミックス」をテーマにしたアミューズメントビル「メガロック」を完成させることができました。利潤を上げているところは、ユーザーが求めているものを真剣に考えています。今はファッションなどにしてもオンラインショップではなく、自社ブランドとインポートをミックスしたものが受け入れられていますね。  
**小室** 震災ではビルが約150棟も潰

れましたが、そのうち再建されたのは70棟ほどだといいます。オーナーとしては、再建してもテナントが入るかどうか不安ですね。青木さんのような魅力あるソフトを調整できるプロがもって現れて残りのビルが再建されれば、神戸の経済も上向きますよ。  
**青木** そうですね。でも、私もぐらいいいかいませぬよ(笑)。

## 行政ならではの事業で民間に潤いを

**小室** 神戸と博多を定点観測していますが、博多はキャナルシティの進出などでうまくいっています。屋台も都市の賑雑さを演出していて、活気がありますね。神戸は、神戸まわりの事件以降、屋台のほかにさまざまな規制がかけられてしまっただけ残念です。神戸市も住宅建設など民間でもできる事業ではなく、もっと民間ではできないことをやって民間を潤すべきです。

**青木** HAT神戸など、復興住宅はたくさん建ちましたね。灘・東灘の資産価値がどうなるか。神戸市には優秀な方も多いが、もっと愚直さも欲しい。  
**小室** 福岡の柳川が埋め立てられずに



三ノ宮駅北側から南を望んだイメージ図

水郷として残ったのは、市役所の係長の尽力が大きかった。幹部じゃなくてもやる気があればできると思う。

**青木** 今年の「神戸つ子」1月号にも書きましたが、日本の将来を考えると、地方分権によって魅力ある県や市を自ら創造していかねければなりません。無理なら、合併です。少なくとも県や市が徴収する税金は、直接その地域住民に還元すべきです。

**小室** 都市が稼いだお金が地方に流れ



フラワーロードの南から北を望んだイメージ図

ていますからね。ある地方には農道として立派な橋が架かっていてびっくりしました。

**青木** 平成の廃藩置県が必要です。

**小室** 道州制ですね。

**青木** それから今の私のテーマは「敬和」。諸先輩を敬い、後ろでどっしりと構えていただく。みなさん退きが遅いですね(笑)。「自由自在」というのもあったんですが(笑)。

〈5月17日、松酒家で〉

## 神戸のお嬢さん

## 和のこころを伝えもつ日本美人

片山直美さん 大関株式会社勤務



大関さきがけホールにて撮影／米田定蔵



推薦者 木澤慶三  
大関株式会社営業本部長付次長

彼女は、神戸松陰女子学院大学英米文学科を卒業され、大関に入社して二年目になります。宣伝企画課に所属し、メセナ活動をはじめ、大関のイメージアップにつながる仕事を中心に活躍されています。

有馬生まれの有馬育ち。生粋の有馬っ子です。名湯有馬の湯を産湯につかった所以か、色白でおしとやか、和服の似合う日本美人です。まさに日本酒メーカー大関にとっては理想の社員で、男性ならば一度は彼女と日本酒を飲んでみたくなる事うけあいです。ようやく社会人生活にも慣れ、好きな料理、茶道教室に通うことができるようになったと、目を輝かせている嬉しそうな表情が印象的です。



## 神戸のお嬢さん

## 家庭の暖かさを大切にする

高橋百代さん



兵庫県公館にて 撮影／池田年夫



推薦者 林 順子  
フリーアナウンサー(元朝日放送)

「ボクシングエクササイズ  
でいい汗かいています」と  
さわやか笑顔の百代さん。

医療法人高橋医院の院長  
高橋直彦氏と建子夫人の五  
人のお子様の三番目。海と  
山にかこまれた、神戸市垂  
水区で生まれ育ちました。

ドラマのようなあたたか  
いファミリーで、兄姉妹の  
結婚後、百代さんの役目は  
家事。ご家族の健康も考え、  
無農薬野菜で和食を研究、  
パンづくりもプロ級の腕前。

茶道・琴・陶芸・テニ  
ス・スキーと多趣味。大学  
時代ニュージーランドでの  
ホームステイなど、古風な  
中にもエネルギーが、素  
敵な現代のお嬢様です。二  
十代後半の今、高橋家のよ  
うな家庭を持つのが夢と。





深川和美（声楽家）

1991年、京都市立芸術大学声楽科卒業。92年、パリへ遊学。帰国後、フランス近代歌曲を中心に活動をはじめ、94年、フランス音楽コンクールにおいてフランス総領事賞受賞。読売テレビ「日曜はピアノ気分」（94年6月～98年3月）、サンテレビ「すてきに！神戸」（97年4月～98年3月）にレギュラー出演。現在、京都市交響楽団等のオーケストラと多数共演している他、アーティストたちとコラボレーションを繰り返し続けている。

## ■キリン神戸工場

# 「丘の上のビアレストラン」の 出来立てビールで乾杯！

一昨年初、北区にオープンした「キリンビール神戸工場」。今年4月21日には工場内に待望の「丘の上のレストラン」が完成。関西を中心に活躍する声楽家の深川和美さんが訪れ、丘の上で味わう出来立てビールの魅力について、キリンビール（株）神戸支社マーケティング担当の菅原正人部長にお伺いしました。

## ★大人の味が分かる神戸人

深川 キリンビール神戸工場では、どのような種類のビールをつくっているのですか。

菅原 神戸工場では、「神戸ビール」「ラガー」「一番搾り」に加え、4月より発泡酒「淡麗生」の生産も始めました。酒税法で麦芽比率が66・7%以上がビールで、それ以下は発泡酒になります。

キリンでは、ビールの味とほとんど変わらないように大麦を使っています。「おいしくて安い」というのが「淡麗生」の特徴です。5月1日には、全国での総生産量が20億本を超え、今非常に伸びていますね。神戸はもともとラガーの人氣が高いんです。一昨年、にがみとコクをいっそう増し、さらに好評をいただけてます。にがみを楽しめるといいうのは人間の高度な味覚感覚で、大人の味が分かるという証拠です。神戸には、それだけ大人の味が分かる人が多いということではないでしょうか。

「神戸ビール」も爆発的とはいきませんが、地元の皆様に愛されています。港まち神戸をイメージできるよう、パッケージをマリブルーにして、イカリのマークを入れていきますので、親しみやすく感じていただけるのではないのでしょうか。それでは、出来立ての神戸ビールで、乾杯しましょう（笑）。

深川 このグラス、フラスコのような形をしていますね。

菅原 形もユニークですが、実はこれ、グラスにふれることなく飲んでいただけるので、ビールが温くならないという機能があるんです。

深川 演出も見事です。やっぱり出来立てだからすごく新鮮で美味しい！

菅原 ビールは健康に良いだけでなく、女性ホルモンを活性化させる働きをも



健康美人揃いのスタッフの皆さん

っています。女性は女性らしくなりませんが、男性が飲み過ぎちゃうとどうなるのかな（笑）。よくビールを飲むと太るといふ方がおられますが、ビール自体のカロリーは思うほど高くはないんですよ。要は食欲を増進させる働きがあるから食べ過ぎちゃうだけなんです。本当は利尿作用があつて、腎臓結石にも効くんです。

深川 じゃあ、もう一杯おかわり（笑）。

## ★食材には県下の名産がずらり

深川 平成9年初のオープン以降、工場見学とビール教室が好評のようです。

菅原 神戸工場では、1分間に2000本のビールを製造する再新鋭のシステムラインやビールの原料などをご覧い





自然光をいっぱいにとり入れたインテリア

**菅原** 自家製のパン  
ビールを飲めない人でも大丈夫です(笑)。  
ビールを飲めない人でも大丈夫です(笑)。  
ビールを飲めない人でも大丈夫です(笑)。

**菅原** 神戸工場オープン以降、常にそのようなお声をいただいております。  
**深川** これまで「美味しいビールは飲めても、食事が出来ない」という不満の声が多かったです。  
**菅原** 神戸工場オープン以降、常にそのようなお声をいただいております。

**深川** これまで「美味しいビールは飲めても、食事が出来ない」という不満の声が多かったです。  
**菅原** 神戸工場オープン以降、常にそのようなお声をいただいております。

ただけです。おかげさまで、オープンから5月16日現在までに、58万7千人の方にお越しいただき、ビールへの知識を高めていただいております。ビール教室は、人とビールのかかわりを体験していただくために開講したものです。最新鋭の工場になると人がいなくて機械がものを作っているというイメージがあると思うんですが、人がビールを作っているんだということを実感していただきたいんです。ビール作り教室は他のビール会社さんの工場も含め、日本でここしかないんです。神戸工場では、ドイツのビール醸造の資格をもった3名のマイスターが工場の品質管理を行っています。

**深川** お薦めのお料理は？  
**菅原** 一番は牛バラ肉を一番搾り(生)とスープで煮込んだ「牛肉のビール煮込み」。実は、神戸ビール、ラガー、一番搾りを順番にお肉と煮込み、相性がいいのはどれかを試してみたいです。そしたら、一番搾りがよく合ったのでメニューに加えました。

**深川** すごく美味しい！とてもお肉が柔らかくて、口の中でとろけそう。これなら、ビールを飲めない人でも大丈夫です(笑)。  
**菅原** 自家製のパン



パンは焼き立てのホヤホヤ

**深川** これだけ美味しいものがそろえば、ついつい来ちゃいますよ。出来立てビールがすべて450円と超お得ですね。お店のインテリアも素敵です。緑が見渡せて、まさに「丘の上のビール工場」のネーミングにぴったり。  
**菅原** 夕方になれば夕陽が眺められて、とてもロマンチックですよ。夜は10時まで営業していますから、カップルに



神戸ビール(450円)、ロールキャベツ(900円/中央)、パイ包みのクリームスープ(800円/右)、真鯛のボワレバジルソース(950円/左)

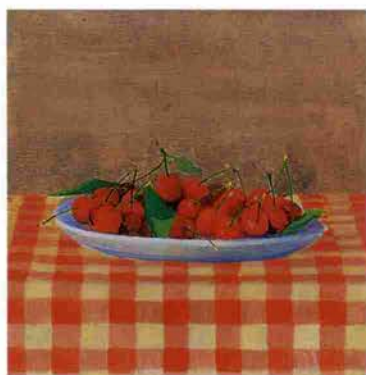
もどうぞ。350円で、3種類の焼き立てのパンが食べ放題になっています。バターもドライトマト、リンゴ、ガリックなどを使ったオリジナルばかりで、これらは小岩井乳業さんに作っていただいています。パンとビールは相性がいいですから、ビールのおつまみに最適です。お昼も3コースご用意し



**レストランのご案内**  
ご予約 20名様以上の場合はお電話にてご予約ください。  
ご予約・お問合わせ受付 9:30~22:00  
☎078-984-2106  
営業時間 11:00~22:00  
※定休日 月曜日(祝・祭日は除く)  
**ブルワリーツアー(工場見学)のご案内**  
※お車の場合は  
大阪方面から：中国自動車道「神戸三田IC」で降りて4分  
神戸方面から：六甲北有料道路「神戸三田IC」で降りて4分  
電車をご利用の場合  
JR大塚駅から：JR横須賀線「三田駅」下車、タクシーで15分  
三宮駅から：北神急行(地下鉄)「谷上駅」乗り換え、神戸電鉄「三田駅」下車タクシーで15分  
※三田駅からは、工場行きのシャトルバス運行。

はデイトスポートにお薦めです。  
**深川** 天窓からは星が見渡せそう。これからだとテラスで、涼みながらビールをいただきたいですね。  
**菅原** ビアノもありますから、ぜひここでミニコンサートを開いてください(笑)。  
**深川** 弦楽もよく響きそうですね。マタニティコンサートを開いたら胎教にも良さそう(笑)。

# 私の「フランス組曲」 松田千草



さくらんぼ Cerises 30×30cm



卓上の果物 Fruits sur la table 27×22cm



さくらんぼと杏子のジグ Gigue de cerises et abricots 1997-98 130×97cm



初めてさくらんぼを大量に見たのは、パリの朝市である。住み心地の良かったドイツとの国境の町ストラスブルグから、突然気が変わってパリに移ってきた。国立美術学校(エコール・デ・ボザール・ド・パリ)を受験するためだった。音楽と同様に国立美術学校の入試には年齢制限があって、私はまさに受験が出来る最後の年になっていた。

初めて迎えるパリの春を楽しむ余裕もなく右も左も分からない新しい町で、とりえず受験の為の人物デッサンをするために私立のアカデミーに通い始めた。

当時パリの国立美術学校では、土曜日の朝に一般の人々向けのヌードクロッキー教室を開いていたので、私立のアカデミーが休みの日もデッサンをしようと、パリで初めてできたスイス人の友達に誘われてそのクラスにでてみた。クロッキーが終わり、美術学校のあるサンジェルマン・デ・プレの近くの市場に行った。このあたりはフランス人に人気の高いとてもあかぬけた地区で、ウィンドウショッピングの楽しくなるようなお店が並ぶ。芸術家風のちょっとくずれた感じの粋な人達が集まるカフェも多く、まさにパリのエスプリと呼べる地区の一つだ。

6月の始めだった。市の屋台には色々な果物が山積みになって並んでいた。苺、杏子、プラム、ミラベル(こぶりのスモモの一種)そして、さくらんぼがあった。頼むと、茶色くて薄い紙の袋に銀色のスコップで無造作に入れてくれる。客は皆500グラム、1キロとたくさん買っていく。日本のように大切に扱わないので、その薄い紙のところどころに熟した果肉が染みて赤くなっているのも気にしない。その市のさくらんぼは甘く美味しかったことを覚えている。

私は、6月に生まれた。日本では田植えの季節だから、

幼い頃に見た水の張った田んぼや、青い苗や雨だれの音を思い浮かべる。幾日も晴れない日が続いて、梅雨のじっとりした空気と、梅干しにする梅や青紫蘇の香りが入り混じる。母は私の名を最初は早苗にしようと思ったほどだ。

ところが、ヨーロッパに来てみると、6月は一年で一番美しい季節なので驚いた。すがすがしい夏の始まりは、日の暮れるのがうんと遅い。一日がずいぶん長く感じられて、心は限り無く外界へ向かっていく。リラやバラの花盛りで、仄かに漂う甘い薫りにさそわれて公園のベンチに腰かけて、これから始まる長い夏のバカンスへの期待や予感に物思いに耽るのもこの頃だ。そんな季節にさくらんぼは相応しい。

さて、美術学校の入試も近づいたある日、アカデミーに行ってみると、さくらんぼを山の様に使った静物が組んでいた。水の入った大きなガラスの器、さくらんぼの入っていた木箱、黒い布地などちょっと大げさな舞台設定はそのアカデミーの助手の好みだった。入試の1次試験は実技、2次試験は面接なので作品がたくさん必要だった。さっそく30号のカンバスにそのさくらんぼの静物を描き始めた。何をどう表現したいかなどじっくり考えることもできずとにかく夢中で描き終えた。その絵は私の他の未熟な作品と共に数人の試験官の前に並べられた。その中には有名な抽象画の画家もいた。2、3質問されて面接は終わった。

数日後、私は入試に受かったことを知った。あまり自信がなかったので、やはり嬉しかった。さくらんぼはあれ以来長い間絵に描かなかった。そして、私の知らない絵の世界が待っていた。



## パパネルと千草がトアロードに…

トアロードにやってきた、イタリア人の画家オーゲスト・パパネルさんと夫人の松田千草さん。

二人はパリで出会った。

オーゲスト・パパネルさんは1940年北イタリア生まれ。16才の時、ベニスのレンゾ・ブーガに弟子入り。ベニスの美術学校を出、1964年にミラノの美術学校を卒業し、早くから画家のみならず、室内建築家・装飾家として評価が高く、また舞台美術家として国際的に活躍している。

1993年に、松本市のサイトウ・キネン・フェスティバル「ジャンヌ・ダルク」の舞台で日本デビューを果たした。

画家の松田千草さんは、1955年加古川市生まれ。慶応義塾大学文学部卒業後、渡仏、

パリ国立美術学校に入学しアルベール・ザバロ教室にて製作。静物画を得意とし、1991年にサロン・ドートンヌの会員に…。

二人はパーティーで知り合い、彼女がパパネルさんの家に遊びに行くと、彼は猫を飼っていた。千草さんは、猫にエサをやるパパネルさんの姿に優しさを感じ、猫が二人の愛をとりもったのだ。

大の日本ビィキのパパネルさん。そして、兎のように愛らしい千草さんが彼に寄り添ってトアロードを歩く姿は、風の坂道にふさわしい。

6月はさくらんぼの季節。

パリの朝市で出会った山積みのさくらんぼを、千草さんのエッセイと静物画でお愉しみてください。  
(小泉美喜子)

## 来年四月から

## 介護保険制度が始まります

井口 實嬉<sup>みのぶ</sup>信

〈神戸市保健福祉局介護保険準備室長〉



平成十二年四月から介護保険制度がスタートする。我が国の高齢化は、今や世界に例のない速さで進んでおり、今後も急速に伸展することが予測されている。神戸市も例外ではない。

介護保険制度は、老後の最大の不安である介護問題を社会全体で支える新しい社会保険制度であり、介護に多額の費用がかかるリスクを、四十才以上の国民が負担する保険料と行政の負担によりカバーするシステムである。

かつて老後は子や孫に囲まれて暮らし、息子に扶養され、介護は嫁に頼るのが一般的であった。「高齢者」イコール「依存する人」とも言える受け身の生き方である。しかし近年は、子どもとの同居率が年々低下するとともに、意識の面でも子どもに頼らず夫婦で暮らす方が増加している。

介護保険制度の理念のひとつは「利用者本位の自由な選択」であり、現行の老人福祉制度から大きく転換する。介護保険は全ての加入者を給付の対象とし、サービスの利用者は保険の契約に基づき、サービスの種類、提供者を選択することになる。利用者は介護サービスという商品を買う、いわば賢い消費者であることが求められるようになり、介護サービスを提供する各事業者には競争原理が働く

ようになる。当然のこととして、保険制度を運営する我々、行政担当者も発想の転換が迫られている。

介護保険制度の創設は、行財政改革、民間活力、規制緩和、地方分権など我が国の社会経済の構造改革を進めるうえでの基本的観点のいずれの点においても、その意義を認めることができる。全国の介護マーケットは、介護保険財政だけでも初年度において四兆二千億円、保険以外を合わせると八兆円程度の規模になるという。今年の三月に市内で設立された「神戸市シルバーサービス事業者連絡会」には、百二十社を超える民間事業者が参加しており、介護サービス提供のための準備が行なわれている。

制度の詳細が一部決まっていないこともあり、保険料など今後の国の動きを待つものも多いが、神戸市としては制度の広報・PRを推進するとともに、必要な介護サービスが提供できるよう特別養護老人ホームなどの施設整備やホームヘルパーなどの人材育成・確保に努め、導入準備を行なっているところである。

制度の円滑な導入により、市民の老後の不安を解消し、介護が必要になっても、ひとりひとりが自立した生活を営むことができるよう全力を挙げて取り組んでいきたい。



STEP GLOBALLY STEP NATURALLY

地球を歩く

自然に歩く

STEP COMFORTABLY

快適に歩く



ヘルスシューズを専門に15年



「健康靴に関するトータルなサービスを提供している株式会社アリスは、おかげさまで、今年で15年目を迎えます。整形外科靴マイスターと経験豊かなスタッフが、お客さまの足の悩みに専門的に取り組んでいます。ご好評のブランドとデザインを豊富に取り揃えておりますので、是非一度ご来店ください。」

代表取締役社長 アリス・クリスチャンス

Japan's Premier Health-Shoe Specialist

高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入



アリス

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-6-6  
TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150  
営業時間:10:30a.m.~6:30p.m.年中無休